

マーケットの動き（2025年6月23日～6月27日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。週初は、米大統領がイスラエルとイランの停戦を発表し、物価上昇懸念が後退したことなどを受け、米国長期金利は低下しました。その後も、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官の早期利下げに関する発言や、24日と26日に発表された米経済指標が市場予想を下回ったことなどを受け、債券は買われました。

欧州国債市場は、英国金利が低下した一方、ドイツ金利は上昇しました。

投資環境見通し（2025年6月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともに徐々にレンジを切り下げる

米国：インフレ懸念に加えて、関税政策や債務上限問題を受けた海外投資家による資産の一部引き揚げの動きは長期金利の上昇要因とみられます。しかし、追加関税発動前の駆け込み需要の反動や長期金利高止まりの影響に加えて、景気は減速に向かうと考えられることから、長期金利は徐々にレンジを切り下げるとみています。

欧州：世界的な財政懸念が広がる中、ドイツ長期金利は高止まりとなっていますが、ユーロ圏のインフレ率が来年にはECB（欧州中央銀行）の目標を下回るとの見方に加え、米国関税政策の影響から景気の減速が懸念されることもあり、徐々にレンジを切り下げるとみています。

	6月27日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.28	▲0.10	▲0.16	▲0.34	▲0.01
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	606.22	0.29%	2.37%	▲1.26%	▲2.47%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202506_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移

（期間：2024年5月31日～2025年6月27日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2024年5月31日～2025年6月27日）



※2024年5月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成